

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年8月15日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670600172
法人名	有限会社 ふれあい
事業所名	グループホーム ポンタ
所在地	鹿児島県阿久根市赤瀬川4295番地 (電話) 0996-73-4348
自己評価作成日	平成26年7月7日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年8月4日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然に囲まれた環境の中で職員はいつも笑顔で楽しく仕事をしている。入所者の方が生き生きと生活出来る環境づくりを心かけている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームの建物は広い空間と日常生活が穏やかに過ごせる工夫がされ、日当たりがよく、テラスでお茶会等で楽しんでいる。
- ・利用者は地域の一員として地域の行事に参加したり、近くの保育園児との交流もあり、楽しい家族的なグループホームを目指している。
- ・毎日が、その人らしく生活できるように、本人や家族の希望や思いを聞き取り、自立支援に向け職員で支援計画をたてて、達成度や満足度を把握している。
- ・身体拘束をしない事を目標に、玄関の施錠も日中はせずに、利用者に寄り添い声かけして支援している。
- ・運営推進会議や家族会が定期的に行なわれ、信頼関係ができています。
- ・災害対策も自動通報装置やスプリンクラーなどの災害対応の器具や備蓄品が準備してあり訓練も定期的に行なわれている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎日の申し送りの前に理念を読み上げ、理念を職員で共有している。	地域の中で安心して暮らし続けられるように、理念を基本に日々申し送り時に全員で唱和し、施設内に掲示して、勉強会やミーティングなどで、理念を共有しケアを行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らされ続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の老人会に参加したり、老人会、近隣の保育園児が行事に参加し交流を図っている。	地域の一員として、地域行事の老人会や消防訓練への参加・保育園児や地域婦人会との交流・認知症サポーター養成講座の開催をする等、地域交流を積極的に行なっている。近隣住民からの野菜等の差し入れ等があり、日常的に地域との交流がある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	キャラバンメイトを取得したので地域の方等にサポーター養成講座を開催し貢献したい。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回実施。行政・区長・民生委員が参加し、行事や入所者・職員の状況・行事等、報告し意見交換をしている。	運営推進会議は定期的に行われ、施設の現況や地域の状況・外部評価の報告などを行ない、活発な意見や情報交換がなされ、運営に反映されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議に参加して頂き意見交換を行っている。</p>	<p>行政の担当者とは書類の提出の際に直接相談をしたり、電話での問い合わせなど、気軽に意見交換を行ない、情報やアドバイスを貰っている。運営推進会議や市主催の連絡協議会に参加して連携が図られている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>事業所で勉強会を行い理解を深めている。</p>	<p>身体拘束をしない事について指針やマニュアルがあり、定期的に勉強会を開催し、身体拘束廃止についての正しい理解と実践を行っている。日常のケアの中で気軽に話し合える環境もできている。日中の玄関の施錠もなく、職員の連携で自由な支援を行っている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>事業所で勉強会を行い職員全員で防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>必要時に社会福祉協議会に依頼し権利擁護に関する制度の勉強会をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	運営者が入所時に行い、改定等は家族会時に資料で説明を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時、家族会等で意見を聞いている。	日常会話の中から利用者の意見や要望を聞くようがけている。家族からは面会時や年3回開催される家族会や外食の機会を作り意見や要望を表せるよう工夫しケアに反映させている。遠方に家族がいる場合は、定期的な便りや電話で利用者の状況等を伝え、希望や意見を聞き、運営に反映している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	業務改善会議をしている。	毎日の申し送り時や勉強会、毎月の業務改善会議で意見や提案が出せる機会を作ったり、管理者と職員で気軽に話し合える時間を作っている。ケアに関する意見や提案が多く随時、運営に反映させ、働きやすい職場になっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	勤務希望をとっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	事業所内で勉強会を行っている。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	グループホーム協議会の研修会に参加している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所前に自宅で面談を行い思いを聞けるように努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入所前に自宅で面談を行い思いを聞けるように努め信頼関係が築けるように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入所前のケアマネや関係者と情報交換を行っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人の思いに共感し支え合う環境作りをしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>本人の思いに添えるようご家族に協力をお願いし共に支え合う環境作りをしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>ご家族を通じて自宅へ帰宅し馴染みの方との交流を図っている。</p>	<p>近所の友人との面会に出かけたり、家族や友人・知人の面会が多く、利用者も近隣住民の出身で馴染みの関係が継続されている。家族の協力を得ながら墓参りや自宅訪問・行きつけの理美容室利用などを支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>食事や共有室での座る位置を考慮している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>サービス終了後もご家族の相談にのっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の思いを汲み取りながら申し送り等で共有するようにしている。ご家族の面会時に話を聞くようにしている。	利用者が話しやすいように雰囲気作りやタイミングを見つけて思いを聞いている。気軽に会話できるような入浴時や夜間の眠れないときなどに思いを聞き申し送り等で共有している。意思疎通が困難な場合は、家族からの情報を聞きながら、本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、ご家族、担当ケアマネから情報収集を行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の申し送り、ケアプランのカンファレンス時に意見を出し合っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、ご家族、主治医からの意見を基にスタッフで評価を行い担当者がケア計画を作成している。	利用者と家族の思いを職員で検討して自立支援に向け介護計画を作成している。定期的なモニタリングをしながら満足度や達成度を確認し、見直しをしている。主治医の意見等を基に現状に即した介護計画の見直しを実施している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日日勤帯・夜勤帯で細かく記録し情報共有やケアに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>主治医・他機関に相談しながら行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>運営推進会議で民生委員の方に提案助言を頂いている。防災訓練は消防署の指示を受け近隣住民にも参加してもらっている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>職員が同行し、希望があれば入所前のかかりつけ医に受診してもらっている。</p>	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。他科受診については、家族の協力を得ている。看護師が中心となり医療機関と連携を図り、適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、口吊の関わりの中にとりえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	看護職員が3名おり状態変化時は報告し支援している。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	主治医や医療連携室との関係作りをしている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	重度化する前から、本人・ご家族から意向を聞いている。	終末期に対する指針やマニュアルがあり、早い段階から家族の思いや意向の把握を行い、関係者ときめ細かな連携を図っている。定期的に勉強会やミーティングを行い職員の知識を深めている。状態悪化時には主治医や家族と話し合い、方針を共有し事業所でできる最大限の支援をしている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	事業所内の勉強会を消防署に依頼し応急手当や初期対応の講習を受けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年4回避難訓練を行っている。2回は消防署立ち合いで地域の方にも参加して頂いている。</p>	<p>年4回避難訓練を実施し、その内2回は自主訓練を行っている。緊急通報システム・スプリンクラー・外部に向けてのサイレンを設置し、地域住民の協力を得て訓練が実施されている。災害時の備蓄が完備し定期的に入れ替えも行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>日々職員で話し合い尊厳を傷つけない声掛けをしている。</p>	<p>尊厳と権利を守りプライバシーの確保をするため、定期的に勉強会などで事例を検討し再確認している。プライドを傷つけないように、さりげない言葉かけでトイレ誘導をしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>朝のお茶の時間に食べたい物を聞く等積極的に働きかけている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>体調、天気など見ながら意見を聞き過ごしてもらっている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>2か月に1回の訪問美容師によるカットを希望を聞いて行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べたい物を聞き、下ごしらえ・味見等をお願いしている。食事は職員も一緒に食べ、片付けで出来る所はお願いしている。	家庭菜園や近隣住民からの差し入れの野菜をメニューに取り入れたり、郷土料理や行事食などで楽しみを作っている。つわの皮むきやグリーンピースなど一緒に下準備をしたり、味見・食後の片付けなど力量に応じて行っている。計画をたてて外食や弁当等、食事を楽しむ環境づくりを心がけている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取量を記録表に記入している。必要な方にはトロミを使用し、キザミ・ミキサー食を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアの声掛けを行い必要に応じて介助をしている。就寝時は義歯ケースで洗浄している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用し出来るだけ失敗の無い様に促している。トイレ動作では出来る事はしてもらえ様見守りを行っている。	排泄チェック表にその都度、記録し排泄パターンを把握している。排泄の失敗やオムツの減少を目標に、トイレ誘導のタイミングを図り自立支援に向けて取り組んでいる。リハビリパンツから布パンツ使用を目標に自立に向けた排泄介助を行なっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排泄チェック表で排便間隔を確認し食事内容や水分補給を検討している。主治医に相談し下剤の調整を行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している</p>	<p>入浴日は決めてあるが、声掛けを行い無理強ひせず嫌な時は時間や日をずらしている。希望があれば入浴日以外での支援をしている。</p>	<p>基本的には週3回の入浴で体調や気分に応じて臨機応変に対応している。入浴を拒む利用者には、声かけのタイミングをずらしたり、職員が替わって声かけしたり、足浴や入浴剤を使用するなど工夫している。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>生活習慣や状況に応じ空調管理にも気をつけながら快適に休んで頂いている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>処方録を作り職員がいつでも確認できるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>毎日のレクで民謡や演歌を歌ってもらっている。個々の出来る台拭き・食事の挨拶等して頂くことで張り合いのある生活が送れる様支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>現在外出を希望される方はいらっしゃらない。季節行事やお墓参り等はご家族の支援を頂いている。</p>	<p>ホーム周辺の散歩やドライブで花見や地域で行なわれる行事に参加している。テラスを利用して日光浴を兼ねたお茶会や食事など日常的に行っている。地域や季節の行事、墓参りや自宅訪問など外出は、家族の協力を得て必要時には施設職員が支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ホームでは所持金は預かっていないが、希望があれば買い物に行き一旦立て替えご家族に請求している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望があれば電話をかけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	庭に咲いた季節の花を飾り季節を感じてもらえる様にしている。清潔であるように掃除を徹底して行っている。	リビングは天井が高く陽射しが差し込み明るく、広くて開放的なスペースになっている。庭の花を飾り、利用者がみんなで作った作品の飾りつけがしてあり温かい雰囲気になっている。掃除が行き届き清潔で、大きなソファが置かれ、好みの場所でゆっくり過ごせるように居心地よく配慮されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファやベンチ、畳室があり気の向いた場所で過ごせるようになっている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所者、ご家族の要望・意見を聞き、使い慣れた家具・写真等を置いている。	居室はエアコンやクローゼットが備え付けてある。入り口は障子があり、畳の部屋もある。自宅で使い慣れた仏壇や写真などが持ち込まれ、その人らしい部屋の雰囲気になっており、それぞれが居心地の良い空間となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	玄関からバリアフリーで一人で安全に移動出来る様になっている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない